

「会員短信 11」

「フィンランド旅行」 山下正純

今年の二月中旬、勤続三十年の自分へのご褒美として、単身、フィンランドに一週間、旅をしました。俳句日記風にフィンランドでの一幕をご紹介させていただきます。俳句に詳しい解説を付すことには賛否あろうかと思いますが、俳句力の拙さに免じてその点はお容赦頂きたく存じます。

果てしなき森林ロード雪叫ぶ

ラップランドのサーリセルカからロヴァニエミまでバスでおおよそ三時間。行く先々で、どどどどつ、と雪の落ちる音が響きわたる。フィンランドといえばムーミンがあまりにも有名だが、いろんな妖精がいてもおかしくないことを実感した。

太陽の息吹オーロラ明滅す

ラップランドで運よくオーロラを見る事ができた。オーロラの発生は“太陽風”と関係がある。

犬ぞりのけなげな走り痛み入り

寒さの中、私の重い体重も気にせず、五匹のハスキー犬がひたすら走ってくれた。

岩盤に温もり与ふるコンサート

旅程最終日、ヘルシンキに一泊のみ滞在。岩盤をくり抜いて作られた、世にも稀有な建造物であるテンペリアウキオ教会を観光。その際に偶然行ったコンサートで、趣味で弾いているビオラと同じパートのヘルシンキの団員とも交流できた。

以上、一週間という短い旅ではありましたが、フィンランドの神秘性と日本人に近い国民性を感じた素敵な旅行でした。